

第1章 計画の策定に当たって (P1~10)

1 計画の概要

- (1) 港区スポーツ推進計画とは
 - 区のスポーツの推進に関する多様な施策を総合的に体系化し、今後のスポーツ施策の基本的な方向性を定めた計画
- (2) 計画の目的
 - スポーツを取り巻く社会情勢の変化や現状と課題に対応したスポーツ施策を計画的に推進すること
- (3) 本計画におけるスポーツとは
 - 運動競技だけでなく、健康づくりのための体操や散歩、介護予防のためのトレーニングなど、自発的に楽しむ全ての身体活動のこと
- (4) 計画の位置付け
 - 港区基本計画及び港区教育ビジョン、教育分野の各計画などの関連計画と整合を図る
- (5) 計画の期間 令和3年度～令和8年度（令和5年度に見直し）

2 策定の背景

- (1) 社会情勢の変化
 - ① 新型コロナウイルス感染症の影響
 - ② 持続可能な社会への移行
 - ③ 人生100年時代の到来
 - ④ Society 5.0の実現に向けた取組の進展
 - ⑤ 東京2020大会の開催
- (2) 国や都の状況
 - 「第2期スポーツ基本計画」において引き続き、成人の週1日以上のスポーツ実施率65%以上（東京都は70%以上）を目標に設定
 - 「第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略」において、スポーツ・健康まちづくりという項目を新設
 - 「東京都スポーツ推進総合計画」において、「関心喚起策」「実行促進策」「継続支援策」の3つの視点による施策を展開
- (3) 港区の状況
 - 平成30年12月、MINATOシティハーフマラソンの初開催
 - 令和元年9月、区内で3か所目となる総合型地域スポーツ・文化クラブ「スポーカル青山」を設立
 - ラグビーワールドカップ2019開催時に、日本ラグビー発祥の地である港区から気運醸成を図るための取組を実施

3 策定の方向性

- (1) 誰もが気軽にスポーツを楽しみ、継続的な活動へ促す取組を推進します。
- (2) スポーツ活動を支援する担い手の育成とスポーツを楽しめる場づくりを推進します。
- (3) スポーツ活動の場の確保とスポーツ施設の利用促進を図ります。
- (4) 障害者がスポーツに親しめる環境づくりと障害者スポーツの理解促進を図ります。
- (5) 港区の特性や資源を生かしたスポーツ活動を推進します。
- (6) 区民一人ひとりの健康づくりにつながるスポーツ活動を推進します。
- (7) 先端技術で創り出す新たなスポーツの楽しみ方の実現を図ります。

第2章 港区のスポーツに関する現状と課題(P11~36)

1 港区の人口動向

- 港区の総人口は、令和2年10月1日現在、約25.9万人であり、令和8年まで増加し続け、約28.5万人に達する見込み

2 港区のスポーツに関する現状と課題

(1) 誰もが気軽に楽しみ継続できるスポーツ活動の推進

- 全体的なスポーツ実施率の向上を図る必要がある
- 子育て・働き盛り世代向けにスポーツ実施率を高める取組が必要
- 現時点でのスポーツの実施状況を考慮し、関心や行動の段階に応じた取組が必要
- 知り合いがいなくても、初心者であっても、参加しやすい環境と機会の充実が求められている。また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止しながら、誰もがスポーツに親しめる機会の提供が必要
- スポーツ観戦率の向上を目指した取組が必要

(2) スポーツ活動を支援する担い手の育成と団体等との連携

- スポーツボランティア実施率を高める取組が必要
- スポーツの意義、価値、楽しみ方を伝えることができ、思いやりを持ってプレーヤーと接することのできる指導者が求められている
- 総合型地域スポーツ・文化クラブのさらなる活性化と連携が必要

(3) スポーツを楽しむ場の確保と利用促進

- 引き続きより多くの区民がスポーツ施設や学校施設を利用できる環境を整備することが必要
- 利用手続きの簡素化などスポーツ施設の利用しやすさの向上が求められている

(4) 障害者スポーツの環境づくりと理解の促進

- 障害者スポーツへの関心を高める取組が必要
- 障害者が楽しみながらスポーツに取り組める環境づくりが必要

(5) 港区の特性や資源を生かしたスポーツ活動の推進

- トップアスリートやトップチーム等を有する区内企業、MINATOシティハーフマラソンなど、港区の資源を生かし、スポーツへの関心を高める取組やスポーツを楽しむ機会を創出することが必要

(6) 健康づくりにつながるスポーツ活動の推進

- 運動不足を解消する観点からスポーツに取り組める機会づくりやスポーツがもたらす効果を情報提供することが必要

(7) 先端技術で創り出す新たなスポーツの楽しみ方の実現

- 新型コロナウイルスの影響を踏まえ、ICTなどの先端技術を活用した新たなスポーツの楽しみ方を検討することが必要
- 幅広い媒体でスポーツに関する情報を発信することが必要
- スポーツ教室やスポーツ競技大会などの情報を積極的に発信することが求められている

第3章 スポーツの推進 (P37~78)

【めざすべき姿】

みんなではぐくむ スポーツ文化都市 みなと

～誰もが生涯を通じてスポーツを楽しみスポーツで元気になるまちをめざして～

基本目標1 誰もが気軽に楽しみ継続できるスポーツ活動の推進

- 施策(1) スポーツ活動に親しむきっかけづくり※
- 施策(2) 子どものスポーツ活動の促進
- 施策(3) 子育て・働き盛り世代のスポーツ活動の促進
- 施策(4) 高齢者のスポーツ活動の促進
- 施策(5) スポーツ観戦の機会の創出
- 施策(6) 競技スポーツへの参加支援

基本目標2 スポーツ活動を支援する担い手の育成と団体等との連携

- 施策(1) スポーツボランティアの育成と活用
- 施策(2) スポーツ指導者の確保と活用
- 施策(3) 地域スポーツ団体等の支援と充実
- 施策(4) スポーツ活動を支える団体等との連携

基本目標3 スポーツを楽しむ場の確保と利用促進

- 施策(1) 区立スポーツ施設等の計画的な整備と充実
- 施策(2) 学校施設の利用の推進
- 施策(3) 既存施設の有効活用と大学等のスポーツ施設の利用の推進

基本目標4 障害者スポーツの環境づくりと理解の促進

- 施策(1) 障害者のスポーツ活動の推進
- 施策(2) 障害者スポーツへの理解促進と普及・啓発
- 施策(3) 障害者スポーツを通じた交流の推進

基本目標5 港区の特性や資源を生かしたスポーツ活動の推進

- 施策(1) 港区の特性を生かしたスポーツツーリズムの推進
- 施策(2) 区内企業等との連携によるスポーツ機会の創出
- 施策(3) 東京2020大会等のレガシーの継承

基本目標6 健康づくりにつながるスポーツ活動の推進

- 施策(1) 健康づくりのための身体活動の推進
- 施策(2) 介護予防等に向けた取組の展開
- 施策(3) スポーツと健康づくりの活動拠点の充実

基本目標7 先端技術で創り出す新たなスポーツの楽しみ方の実現

- 施策(1) 先端技術を活用したスポーツ活動の推進※
- 施策(2) スポーツ情報の提供

※：新型コロナウイルス感染症の対策に関連する施策

第4章 計画の推進 (P79~85)